2019年度用

新版 たのしい保健

観点別特色一覧

| **観点** | **特色** | **具体例** |
| --- | --- | --- |
| ▼目標と内容の範囲 | | |
| (1) 学習指導要領の**目標達成**に適切な配置がなされているか。 | ①学習指導要領の目標が達成できるように，各章ごとに導入ページを設け，学習すべき章全体の目標を明確にするとともに，各単元の冒頭にそこで学習する課題を明示しています。 | 各単元  導入 |
| (2) **基礎的・基本的な事項**が明確に示されているか。 | ①各単元の本文で基礎的・基本的な学習内容を端的な言葉で明示し，学習すべき内容の確実な習得が図れるように配慮しています。 | 各単元 |
| (3) **日常生活に密着した教材**をもとに，学習することや，それを活用することに重点がおかれているか。 | ①児童の身近な場面を教材として取り上げることで興味・関心や気づきなどを引き出し，課題を解決し，学習したことを直接日常生活へ活用する「生きる力」の理念を達成できるように十分配慮しています。 | 各単元 |
| ▼内容の程度及び取り扱い | | |
| (1)児童の**心身の発達**に対応した内容か。 | ①発達段階をふまえて学習内容を吟味し，児童が無理なく理解し実感できるようにしています。  ②発達段階に即して各種のキャラクターを配置し，学習内容のヒント・補足や活用のためのアドバイス，専門知識を紹介したりしています。  chara_コケンコー先生_1　hoken_Makoto　chara_保健室の先生1　　chara_学校医 | 全章 |
| (2) **健康・安全**の学習について，児童の生活や経験及び興味・関心に対する配慮がなされているか。 | ①課題に対して切実感や興味・関心をもてるように，児童が実生活・実社会で出会うような場面を設定し，健康や安全に関して具体的・体験的な解決が図れるようにしています。  ②児童が新しい学習内容に興味・関心をもてるよう章の導入に学習ゲームを取り入れたり，有効な場面では体の成長や食べたものを意識させるシールを用いた学習も展開しています。 | 全章 |
| (3) 各章では，どこに**重点**がおかれているか。 | 3・4 年  ①「毎日の生活とけんこう」  自分たちの生活を健康だと思うときはどのようなときか振り返ることから学習が始まっています。児童の生活リズムを通して主体要因をおさえた上で，身の回りの環境を整えることを学び，健康に生きるとはどのようなことかを理解していきます。  ②「育ちゆく体とわたし」  体や心の変化をこれから体験する児童が多いことを考慮し，同学年や上位学年の児童の実体験を引用したりして，やさしい文章で解説しています。また，自分の発育・発達に対して肯定的に捉えることができるよう配慮しています。  5・6 年  ③「心の健康」  年齢や経験の違いによる心の発達が具体的に理解できるように，人とのかかわりや自然とのふれ合いなど体験的な事例を通して学習できるようにしています。また，発達段階に応じた具体的な悩みやその解消法を示し，実生活で活かせるようにしています。  ④「けがの防止」  「犯罪被害の防止」について新たに1 単位時間設定し，児童自身の犯罪から身を守ることを意識した行動につながる内容にしています。また，軽いけがの手当をわかりやすく解説することで，児童が軽いけがの手当ができるようにするとともに，危険を予測し防止行動をとることが身につくよう配慮しています。  ⑤「病気の予防」  話し合いなどによる児童の活動のなかから病気の原因や予防の方法を考え，学習できるようにし，児童自らの生活に活かすことができるようにしています。また，生活習慣病，たばこの害，酒の害，薬物乱用の害などの現代的な健康課題については，資料を用いて調べたり，話し合うなどの活動を通して理解を深めることができるようにしています。 | 3・4 年  p.2 ～ 15  p.16 ～ 28  5・6 年  p.2 ～ 13  p.14 ～ 27  p.28 ～ 48 |
| (4) 内容は，**系統性・関連性及び発展性**などを考慮しているか。 | ①全学年とも学習指導要領に則り，指導内容を体系化して，身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容をわかりやすく，より実践的に学習できるようにしています。  ②第3 学年では，初めて学習する「保健」の最初の章ということを考慮して，健康と思うときはどのようなときかを振り返ることから始めています。健康という概念を児童にとって身近な生活行動と関連させて，学習に取り組みやすくなるように配慮しています。  ③第4 学年では，自らの成長の記録を調べることと関連を図りながら，体の成長についての学習を展開しています。  ④第5 学年では，「心の健康」を第4 学年で学習した「思春期の心の変化」から続いて学習できるよう，学習指導要領に合わせ「けがの防止」の前に配置しています。  ⑤第6 学年では，病気の起こり方，病気の原因と予防，抵抗力の違いによる発病の有無について系統立てて考え，学習できるようにしています。 | 全章  3・4 年  p.2 ～ 15  p.16 ～ 28  5・6 年  p.2 ～ 13  p.14 ～ 27  p.28 ～ 48 |
| (5) **基礎・基本**の確実な定着と，**個に応じた**指導の充実が図れるよう配慮されているか。 | ①基礎・基本となる学習内容を本文で端的な表現でまとめ，確実な定着が図れるように配慮しています。  ②「もっと知りたい! 」「ミニちしき」「けんさく」「はってん」などの読み物や資料で，個に応じて学習内容を深めることができるように配慮しています。  もっと知りたい　　ミニちしき　　けんさく | 全章 |
| (6) **「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう**工夫されているか。 | ①「導入の活動で児童の興味・関心を引き出し，学習内容へスムーズに導き，主体的に学習に取り組むことができるようにしています。  ②課題解決にせまる活動「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」では，自らの考えを友達との対話などを通してより確かなものにしています。  話しあってみようやってみよう    活用③各単元の最後に掲載している「活用」で，その単元で学習  して理解したことをもとに，学んだことを生活に活かすことに  より深い学びとなるようにしています。 | 全章 |
| (7) **教科科横断的な視点にたった資質・能力の育成**が図られるよう工夫されているか。 | **①体育**　健康ですこやかな体をつくるには，適度な運動が欠かせないことを示しています。  　第3 学年「毎日の生活とけんこう」  　第4 学年「育ちゆく体とわたし」  　第5 学年「心の健康」  　第6 学年「病気の予防」  **②家庭科**　健康の保持増進には運動や休養・睡眠とともにバランスのとれた食事の大切さを示しています。  　第3 学年「毎日の生活とけんこう」  　第4 学年「育ちゆく体とわたし」  　第6 学年「病気の予防」  **③国語**　慣用句を紹介し，国語の学習内容にもつながるようにしています。  　第5 学年「心の健康」　「言葉」とその「様子」を線で結ぶ活動を示しています。  **④算数**　統計資料は，学習段階をふまえてグラフ化して示しています。  　第4 学年「育ちゆく体とわたし」  　第5 学年「心の健康」「けがの防止」  　第6 学年「病気の予防」  **⑤理科**　人の体の学習と関連づけた内容を紹介しています。  　第3・4 学年の発展「受けつがれていく命」  　ミニ知識 | 3・4 年  p.4, 5, 7, 8, 27  5・6 年  p.6, 9, 11，34, 37  3・4 年p.4 ～ 8,  26 ～ 28  5・6 年p.34, 37  5・6 年p.7  3・4 年p.19, 21, 24  5・6 年p.8, 12, 16,  18, 20, 22, 36, 41,  43, 45  3・4 年p.10，28，29  5・6 年p.39 |
| (8) **道徳教育との関連**が図られているか。 | ① 命の大切さと自他を尊重することの大切さを取り上げています。  　第3・4 学年の発展「受けつがれていく命」  　第5・6 学年の発展「大切な命　絆（きずな）」  ② 自分や相手を大切にできるようお互いに認め合い，信頼し合うことに  つながる活動を取り上げています。 | 3・4 年p.29  5・6 年p.49  5・6 年p.10 |
| (9) **今日的な話題**としての環境教育や国際理解，防災教育，食育などについて配慮されているか。 | ①第５学年の「心の発達」で自然とのふれ合いが感情を豊かにすることにふれています。  ②路上喫煙について，英語や中国語，韓国語でも表示されたポスターを紹介することで，外国語にふれるようにしています。  ③防災教育の観点から，第5 学年の「学校生活や地いきでのけがの防止」のなかで，大雨による川の増水に対する注意標示や，地震や津波の際の避難場所の標示写真を掲載するとともに，「もっと知りたい！」のなかで自然災害に備えた準備や地域の取り組みについてもふれています。  ④第３学年の「毎日の生活とけんこう」では，食事をしっかりとることで元気に運動や勉強ができることを学習したり，「発育・発達」「病気の予防」に関する単元では食育に関する情報を提示して学習できるよう配慮しています。 | 5・6 年p.4, 5  5・6 年p.41  5・6 年p.19, 26  3・4 年  p.8, 26  5・6 年  p.37, 39 |
| (10) **発展的な学習**内容はどのように取り上げられているか。 | ①各巻末で「命」としっかり向き合い，自他の生命を尊重はってん  する姿勢を育てるようにしています。  ②社会情勢や時代の流れに即した話題や，新しく取り上げ  られた学習に関連した内容などを扱っています。「すいみんと成長」「熱中症」「自然災害にそなえよう」「AED」「いろいろな病気と病原体」 | 3・4 年p.29  5・6 年p.49  3・4 年p.28  5・6 年  p.25 ～ 27, 35 |
| ▼内容の配列・構成・分量 | | |
| (1) 各章間の**配列**は適切か。 | ①学習指導要領の配列をもとに，児童の発達段階をふまえて学習内容を吟味し，無理なく学習できるように章配列をしています。  ②第5 学年「心の健康」は，第4 学年の「思春期の心の変化」から続いて学習できるよう，学習指導要領に合わせて「けがの防止」の前に配置しています。 | 全章  5・6 年  1, ２章 |
| (2) 各単元内において，基礎的・基本的事項が**習得・定着・活用**できる構成になっているか。 | ①各単元では冒頭に学習課題を明示した上で，課題解決にせまる活動から学習内容へスムーズに導くようにしています。  ②活動から導き出される基礎的・基本的な学習内容を，本文で端的な表現でまとめ定着を図るとともに，関連する資料や図などで学習内容を深め  るようにしています。  ③各単元の最後に学習内容を振り返り，毎日の生活に活かしていくための「活用」を設け，「生きる力」が身につくようにしています。 | 各単元 |
| (3) 所定の時間内に**十分消化できる**分量となっているか。 | ①1単位時間の学習の流れを課題解決学習の過程にそって， 「見開き2ページ」で構成しています。  ②資料や知識は過多にならないように，発達段階と学年に応じて十分吟味して提示しています。  ③限られた時間内で学習が効率的に展開できるように，シールを適宜活用しています。 | 各単元  全章  3・4 年p.18, 26, 27 |
| ▼表記・表現 |  |  |
| (1) 文章表現は適切か。 | ①文章は児童の発達段階を考慮して，平易でわかりやすい表現にしています。  ②取り上げる内容については十分に正確性に配慮するとともに，読みやすい表現にしています。 | 全章 |
| (2) 表記・用語・記号は適切か。 | ①外来語等はカタカナで表記し，漢字は原則的に学習指導要領に示されている配当学年より，一学年遅らせて使用しています。  ②配当学年以上の漢字で，漢字で表記した方がわかりやすい語彙は，見開きページごとにふりがなをつけて使用しています。  ③記号やマークは，児童の発達段階に応じて興味・関心を引しりょう  き，理解を助けることができるようなものとするとともに，  言葉も添えてそれぞれの内容がわかるようにしています。 | 全章 |
| (3) イラスト，写真，グラフ，表，参考資料等は，質・量ともに適切か。 | ①イラストや写真は児童の学習意欲を喚起したり，興味・関心を引いたりするようなものを厳選しています。  ②グラフや表は正確性に万全を期するとともに，児童が視覚的に捉えやすいように工夫をしています。  ③参考資料は科学的根拠にもとづいた最新のデータを採用し，学習の助けとなるものを提示しています。 | 全章 |
| ▼人権 |  |  |
| (1) **人権尊重**について，どのように配慮されているか。 | ①児童が活動する場面では，ジェンダー（社会的な性別）を意識して，男女が同じくらいの人数になるように配慮しています。  ②「話し合ってみよう」の場面では言語活動を重視し，他人と意見を交換し合うことで，「互いに信頼し，学び合って友情を深め，男女仲良く協力し助け合う」ということに配慮した展開にしています。  ③感染症に関する内容を発展的に取り上げ，児童が人権について考えられるような構成にしています。  ④目次に介助犬の写真を掲載して，障がいのある人に対する理解と支援についての関心を引き出すようにしています。 | 全章  5・6 年p.35  目次 |
| (2) 障害のある児童などへの指導に対して，どのような配慮がされているか。 | ①視覚障がいをもつ児童などにも配慮し，個人差を問わずできるだけ多くの児童に見やすいように，ユニバーサルデザインに配慮しています。さらに，色使いについてはカラーユニバーサルデザインの認証を取得しています。  ②弱視者のために拡大教科書を発行しています。 | 全章 |
| ▼創意・工夫 |  |  |
| (1) 課題解決のための学習の手順について，どのような創意・工夫がなされているか。 | ①課題解決のために教科書の学習の順序は，  「本時の学習課題」（本時で学習する内容）  →「導入の活動」（興味・関心を引き出し，学習内容へとスムーズに導く）  →「活動から導き出される学習内容」（活動から導き出されたことをわかり  　 やすく図解）  →「学習内容を深める資料」（資料や図などで理解をさらに広げる）  →「学習内容をまとめる本文」（学習内容をまとめ，知識の確実な習得を図る）  →「学習内容を活かす活動『活用』」（学習し，理解したことを毎日の生活  　 に活かすことで，「生きる力」が身につく）の構成となっています。 | 各単元 |
| (2) 児童の**興味・関心**を引き出す学習活動について創意・工夫がなされているか。 | ①第4 学年の身長の伸びをテープの長さで示す活動において，シールを  使うことで児童の興味・関心を高め，活動の円滑化ができるようにしてい  ます。また，今日の朝ごはんを示すところでは，シールを探しながら示す  ことでいろいろな食品があることを確認できるようにしています。  ②第６学年の「地域で行われている保健活動」については1 単位時間を設  定し，中学校との系統性を考慮して，保健所や保健センターで行っている  活動を，具体的にイメージできるようなイラストで示すとともにノートの記入例を示しています。 | 3・4 年  p.18，26，27  5・6 年p.46，47 |
| (3) 児童の**生活及び経験**との関連について創意・工夫がなされているか。 | ①児童の生活や経験をもとにして課題を把握し，「話し合ってみよう」で話し合いをしたり，「やってみよう」「調べてみよう」の活動をしたりできるようにしています。  ②明るく親しみをもてるイラストや身近な写真，出典の明らかな詳しい資料などで，児童自らの生活を客観的に捉えられるようにしています。  ③第6 学年の「たばこの害」や「飲酒の害」での「活用」では，ロールプレイングの回答例を考えることで，言語活動や他者とのかかわりについて学べるように工夫しています。 | 全章  全章  5・6 年p.41, 43 |
| ▼印刷・製本 |  |  |
| (1) 文字の書体，大きさは適切で，印刷は鮮明か。 | ①文字の書体や大きさは適宜使い分け，紙面にメリハリがあり読みやすくなるようにしています。  ②印刷はソフトで，美しい仕上がりにしています。特に，写真やイラストについては，鮮明で美しく仕上げています。 | 全章 |
| (2) 紙質や製本様式は適切か。また，長期の使用に耐えられるか。 | ①表紙は通常の加工に加え抗菌加工を施し，汚れにくく丈夫なものにしています。また，名前がきれいに書ける記入欄を設けています。  ②製本は児童にとって安全な，針金を使用しないアジロ綴じとし，奥までよく開くことができるようにしています。  ③ 2 年間の使用に十分耐える丈夫な造本にしています。 |  |
| (3）環境やアレルギーに対して配慮されているか。 | ① 用紙は資源循環の立場から，環境に配慮したものを使用しています。  ② 植物油インキを使用し，化学物質に過敏な児童にも配慮しています。 |  |